

「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」における平成29年度パイロット事業（実証実験）の実施集団選定状況

平成29年11月20日現在

○44都道府県において51対象集団が決定（47都道府県で54対象集団の見込）。

○荷種の内訳は、食料品16件、農産物7件、建設資材6件、機械製品4件、ゴム製品2件、化学品2件、その他14件であり、全国で様々な荷種を扱う。

都道府県	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種	予算	コンサルタント	都道府県	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種	予算	コンサルタント
北海道	○	○	○	農産物(青果)	厚労省	日通総研	福井	○	○	—	金属製品	国交省	運輸・物流研究室
青森	○	○	○	農産物(青果)	国交省	社会システム	大阪	○	○	○	食料品(加工食品)	厚労省	日通総研
岩手	○	○	○	食料品(鶏肉、卵)	厚労省	日通総研	京都	○	○	○	印刷フィルム	トラック協会	日本PMI
宮城	○	○	○	食料品(加工食品)	国交省	社会システム	兵庫	○	○	○	金属製品	厚労省	日通総研
秋田①	○	○	○	農産物(青果、花き)	国交省	社会システム	滋賀	○	○	○	日用品(歯磨き等)	トラック協会	日本PMI
秋田②	○	○	—	紙・パルプ	トラック協会	日通総研	奈良	○	○	○	建設資材(ユニット住宅)	厚労省	日通総研
山形	○	○	○	食料品(冷凍食品)	厚労省	日通総研	和歌山①	○	○	○	食料品(飲料)	トラック協会	日本PMI
福島①	○	○	—	ゴム製品(タイヤ)	厚労省	日通総研	和歌山②	○	○	○	機械製品(編機)	トラック協会	日本PMI
福島②	○	○	○	食料品(水、酒)	トラック協会	日本PMI	広島	○	○	○	食料品(調味料)	国交省	日本PMI
茨城	○	○	選定中	浴槽等	国交省	富士通総研	鳥取	○	○	○	食料品(乳飲料)、 飼料	厚労省	日通総研
栃木	○	○	○	農機具	国交省	富士通総研	島根	○	○	○	集荷荷物	国交省	日本PMI
群馬					トラック協会	日本PMI	岡山	○	○	○	機械製品(厨房機器)	トラック協会	日通総研
埼玉	○	○	—	日用品	国交省	富士通総研	山口	○	○	○	建設資材(住宅資材)	国交省	日本PMI
千葉	○	○	○	建設資材(住宅資材)	トラック協会	運輸・物流研究室	徳島	○	○	○	農産物(青果)	厚労省	日通総研
東京①	○	○	○	食料品	厚労省	日通総研	香川					トラック協会	日本PMI
東京②	○	○	○	建築資材(石膏ボード)	トラック協会	運輸・物流研究室	愛媛	○	○	○	日用品(家庭用衛生品)	厚労省	日通総研
神奈川	○	○	○	化学品(石油製品)	厚労省	日通総研	高知					国交省	日本PMI
山梨	○	○	○	食料品(洋菓子)	国交省	富士通総研	福岡	○	○	—	家具	トラック協会	運輸・物流研究室
新潟	○	○	○	農産物(米)	厚労省	日通総研	佐賀	○	○	—	機械製品(生活用品)	トラック協会	運輸・物流研究室
長野	○	○	○	食料品(味噌)	厚労省	日通総研	長崎	○	○	—	農産物(青果)	トラック協会	運輸・物流研究室
富山	○	○	選定中	化学品(硫酸、液安ほか)	厚労省	日通総研	熊本	○	○	○	機械製品(住宅設備機器)	トラック協会	運輸・物流研究室
石川①	○	○	○	オフィス製品(パーティション)	トラック協会	ヘック協会	大分	○	○	—	工業製品(?)	トラック協会	運輸・物流研究室
石川②	○	○	選定中	食料品(生鮮食料品、冷凍食品等)	トラック協会	湯浅コンサルティング	宮崎	○	○	○	農産物(青果)	厚労省	日通総研
愛知①	○	○	○	建設資材(ユニット住宅)	国交省	三菱UFJリサーチ	鹿児島	○	○	○	食料品(鶏卵、プロイラー)	厚労省	日通総研
愛知②	○	○	○	食料品(加工食品)	トラック協会	三菱UFJリサーチ	沖縄	○	○	○	食料品(食品)	厚労省	日通総研
静岡	○	○	○	ゴム製品(タイヤ)	厚労省	日通総研							
岐阜	○	○	○	窯業品	厚労省	日通総研							
三重①	○	○	—	建設資材(屋根材、外壁)	国交省	三菱UFJリサーチ							
三重②	○	○	—	食料品(菓子)	トラック協会	運輸・物流研究室							

# パレット化による荷役作業時間の削減(北海道の事例)

## 実施集団(29年度新規)

発荷主:2社(非公表)

方面:道南及び道央⇒道内の市場

運送事業者:運送事業者4社(非公表)

着荷主:2社(非公表)

荷種:農産物

## 課題

1. 発荷主側、着荷主側ともに手荷役による作業のため、荷役作業が長時間化している。
2. 複数箇所での積込みのため、拘束時間が長時間化している。

## 検討中の取組内容

### ➤ ①パレット化による荷役作業時間の削減

パレットを使用した輸送による、荷役時間の削減効果を検証

### ➤ ②運行計画の見直し(集荷ルートの見直し等)

集荷ルート及び配送ルートの見直しを行うことによる全体の拘束時間の削減効果を検証

## 期待される効果

- 荷役時間の削減によるドライバーの負担軽減(①)
- 集荷ルートの見直し等による拘束時間の削減(②)

# 荷積み時間の削減等による拘束時間の削減(青森県の事例)

## 実施集団(29年度継続)

発荷主:十和田おいらせ農業協同組合 方面:青森県  
⇒首都圏の市場  
運送事業者:中長運送(株)  
着荷主:青果卸売業者(非公表)  
荷種:農産物

- 前年度は閑散期における荷積み時間の削減効果等を検証  
(荷積み時間 最大 3.8時間 → 2.9時間へ改善)
- 今年度は繁忙期における荷積み時間の削減効果等を検証

## 課題

1. 配送先への到着が混雑時であるため、待機時間が長時間化している。
2. 配送先ごとの仕分けができていない積み荷があるため、積込作業に時間を要している。
3. 複数の荷受先に荷降ろしをしているため、その都度荷受先の手待ちや荷役に時間を要している。

## 検討中の取組内容

### ➤ ①朝積み時間の前倒し

時間を前倒しし、着荷主側の混雑時間を避け早めに到着することにより、待機時間の短縮を図る

### ➤ ②配送先別の積み荷の区分け

配送先ごとに積み荷を仕分けして、「配送先」を明確化することにより荷役作業時間の削減を図る

### ➤ ③1運行の荷受け先削減

1運行の配送先を4箇所から2箇所程度に減らすことにより、待機時間や荷役作業時間の削減を図る

## 期待される効果

- 待機時間の削減による休息時間の確保(①、③)
- 荷役時間の削減によるドライバーの負担軽減(②、③)

# 発荷主及び着荷主における待機時間の削減(山口県の事例)

## 実施集団(29年度新規)

発荷主:積水ハウス(株)山口工場      方面:山口県⇒福岡県  
運送事業者:センコー(株)  
着荷主:積水ハウス(株)九州物流センター  
荷種:建設資材(住宅資材)

## 課題

1. 発荷主側:積込時の入門指定時間帯があるが、積荷の準備等発荷主側の都合により、受付から積込レーン接車までの待機時間が発生
2. 発荷主側:積込時のシートがけ・養生作業が手作業であるため、長時間の作業が発生
3. 着荷主側:午前8時以降、毎時5両分の着時間指定があるが、先着順のため指定時間前の到着による待機時間が発生

## 検討中の取組内容

➤ ①入門時間を積荷の準備状況を踏まえ再設定(発荷主)

前日までの積荷準備状況を踏まえ、入門指定時間帯を設定し、待機時間の削減を図る

➤ ②附帯作業を機械化(発荷主)

ドライバーの附帯作業を軽減するために、養生作業を機械化し、作業時間の削減を図る

➤ ③入門時間を指定(着荷主)

レーン数にあわせて2両ずつ時間をずらして指定することにより、早朝からの待機時間の削減を図る

## 期待される効果

- 待機時間の削減による拘束時間の削減(①、③)
- 荷役作業時間の削減によるドライバーの負担軽減(②)